

第5学年 音楽科学習指導案

平成29年1月30日(月)第6校時

文京区立駕籠町小学校

第5学年1組 24名

学級担任 佐藤 樹里

指導者 金田 美奈子

1 題材名 変そう曲に親しもう

2 題材の目標

主題の変化を感じ取りながら、変奏曲の構造を理解して聴く。

指導事項<学習指導要領の第5学年及び第6学年の内容より>

「B鑑賞」

イ 音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取り、楽曲の構造を理解して聴くこと。

ウ 楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさを理解すること。

〔共通事項〕ア (ア)旋律 音色 (イ)反復 変化

3 児童の実態と題材設定の理由

第5学年の児童は、音楽の学習に自ら取り組もうとする児童が多く、特に音楽づくりで新しい表現をつくる活動を好んでいる。また、歌唱や器楽の学習では、新しい楽曲との出会いの場面である導入時において、音楽を聴いて気付いたことや感じ取ったことをペアや全体で交流し、曲全体の特徴について共有する場面を設定している。このことにより、児童が「このように演奏したい。」「このように演奏するにはどのような工夫が必要なのか。」等、自分の思いや意図をもって表現活動に取り組むことができるようになりつつある。鑑賞の学習では、音楽を特徴付けている要素と音楽の仕組みのかかわり合いを、音楽の仕組みの働きに着目して感じ取りそれを理解して聴くという活動を、低学年の時から継続的に指導してきているが、変奏曲形式については未習である。そこで、主題を演奏する楽器と伴奏を演奏する楽器とが様々に変化することによって生じる響きの変化や、ピアノのユニゾンの演奏による響きの美しさ等を感じ取りながら変奏曲の構造を理解して聴くことで、曲のよさや美しさをより深く味わうことができるようになることを考え、本題材を設定した。

4 教材と使用音源

(1) 教材「ピアノ五重奏曲『ます』第4楽章」(シューベルト作曲)

1819年にシューベルトがシュタイルへ旅行をした時に、パルムガルトナーの依頼を受けて、既に自身で作曲していた歌曲「ます」の旋律を主題とした変奏曲を第4楽章に含む全5楽章ピアノ五重奏曲として作曲した。

この曲は一般的な弦楽四重奏曲とは異なり、バイオリンを1つにして、ビオラ、チェロ、コント

ラバスにピアノが加わるという演奏形態をとっている。変奏曲とは、特定の旋律に様々な方法で変化を加えながら音楽を展開していく楽曲形式のことである。ここで材料として選ばれた旋律を「主題」といい、この後に続く変化される部分を「変奏」という。この第4楽章は主題と5つの変奏とコーダで構成されている。

(2) 使用音源

教科書に準拠した CD 及びデジタル教科書の音源を使用する。また、映像資料としては、教科書準拠の DVD と、1969 年に撮影されたもので、バレンボイムが主宰したサウスバンク音楽祭におけるパールマン（バイオリン）、ズッカーマン（ビオラ）、デュ・プレ（チェロ）、バレンボイム（ピアノ）メータ（コントラバス）の演奏を使用する。

5 題材の評価規準

	音楽への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
題材の評価規準	①旋律の反復や変化に関心をもって聴く学習に、すすんで取り組もうとしている。	①旋律の反復や変化を知覚・感受している。 ②旋律の反復や変化、楽器同士の関わり合いによって醸し出される曲想の変化を全体的に味わいながら聴き、変奏曲の構造を理解している。

6 題材の学習指導計画（全3時間）

時	○主な学習内容 ・主な学習活動	☆教師の支援 ◆評価（評価方法）
	<ねらい>主題の旋律を知覚・感受する。	
1	<p>○楽器の音色の知覚・感受</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弦楽器とピアノの音の特徴を確認する。 <p>○主題の知覚・感受</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌曲の「ます」を歌う。 ・「ピアノ五重奏曲『ます』第4楽章」の主題を聴く。 ・主旋律と伴奏の関わり合いを聴く。 「主旋律と伴奏の旋律のリズムが同じ。」 「旋律の間を埋めるように伴奏が入っている。」 	<p>☆弦楽器の音色について確認するために、既習曲をバイオリン、ビオラ、チェロ、コントラバス、ピアノで聴いたり、それぞれの楽器に合う旋律でできている曲を聴いたりして感じたことを話し合う場を設定する。</p> <p>☆主題の旋律に意識を向けて聴くことができるようにするために、旋律を口ずさみながら聴く活動を設定する。</p> <p>☆主題を演奏している旋律楽器（バイオリン）と、その他の楽器の伴奏との関わり合いから感じたことについて、ペアやグループで話し合う時間を設定する。</p> <p>☆楽器同士の関わり合いを聴くことができるようにするために、各楽器の旋律やリズムのリズムを口ずさむ活動を設定する。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・主題について、まとめる。 ○次時の予告 ・「ピアノ五重奏曲『ます』第4楽章」を通して聴く。 	<p>◆旋律の反復や変化に関心をもって聴く学習に、すすんで取り組もうとしている。</p> <p style="text-align: right;">【関一①】（行動観察）</p> <p>☆主題を演奏している楽器の移り変わりを意識しながら聴くことができるように、楽器のカードを準備する。</p>
<p><ねらい>主題を演奏する旋律楽器の移り変わりを感じ取る。</p>		
<p>2 本 時</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○主題の確認 ・「ます」を歌う。 ・「ピアノ五重奏曲『ます』第4楽章」の主題を聴いてまとめた内容を交流する。 ○変奏の聴取 ・各変奏ごとに、主題を演奏する旋律楽器の移り変わりによって曲想がどのように変化しているのかを聴く。 ○紹介文の記述 ・変奏1から変奏5を聴き、特に印象に残った変奏を選んで口頭発表の原稿を書く。 ○振り返り ・自己評価をする。 	<p>☆音楽用語や音楽の感じを表す言葉を適切に使って話し合うよう助言する。</p> <p>☆ここでは、主題を演奏する旋律楽器の移り変わりによる曲想の変化に重点をおいて、聴く活動を設定する。</p> <p>☆自分が特に印象に残った変奏を選び、学習カードのメモを基にして他の変奏と比べながら文章にするよう助言する。</p> <p>◆旋律の反復や変化を知覚・感受している。</p> <p style="text-align: right;">【鑑一①】（学習カード）</p>
<p><ねらい>「ピアノ五重奏曲『ます』第4楽章」の構造を理解する。</p>		
<p>3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○旋律楽器の移り変わりと楽器同士の関わり合いによって生まれる変奏曲の構造の理解 ・前時に書いた紹介文を交流する。 ・曲全体を映像資料で鑑賞し、演奏のよさについて交流する。 ・「ピアノ五重奏曲『ます』第4楽章」の紹介文を書く。 	<p>☆主題の旋律を演奏している楽器とその他の楽器との関わり合いについて記述されているかどうかを視点として交流するよう助言する。</p> <p>☆主題を演奏する旋律楽器の移り変わりを視覚的に確認することができるようにするために、映像資料を使用する。</p> <p>◆旋律の反復や変化、楽器同士の関わり合いによって醸し出される曲想の変化を全体的に味わいながら聴き、変奏曲の構造を理解している。</p> <p style="text-align: right;">【鑑一②】（学習カード）</p>

7 本時の学習(2 / 3 時間)

(1)ねらい 主題を演奏する旋律楽器の移り変わりによる曲想の変化を感じ取る。

(2)学習の展開

○学習内容	・学習活動	☆教師の支援 ◆評価 【評価項目】(評価方法)
<p>○主題の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ます」を歌う。 ・「ピアノ五重奏曲『ます』第4楽章」の主題を聴いてまとめた内容を交流する。 ・今日のめあてを確認する。 	<p>☆旋律を演奏している楽器とその他の楽器の関わり合いについて触れながら交流するよう助言する。</p>	
<p>主題を演そうする楽器の移り変わりによる曲想の変化を感じ取ろう。</p>		
<p>○第1変奏の聴取</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピアノの旋律の特徴に気を付けて聴く。 ・伴奏との関わり合いから感じたことをまとめる。 <p>○第2変奏の聴取</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビオラの主旋律に対してピアノが応答していくことに気付く。 <p>○第3変奏の聴取</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェロとコントラバスが主旋律を演奏することによる曲想の変化について確認する。 <p>○第4変奏の聴取</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転調していることによる曲想の変化について確認する。 <p>○第5変奏の聴取</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェロの演奏の変化について感じたことをまとめる。 <p>○コーダの聴取</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バイオリンとチェロのかけ合いになっていることを確認する。 <p>○紹介文の記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変奏1から変奏5を聴き、特に印象に残った変奏を選んで口頭発表の原稿を書く。 <p>○振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価をする。 	<p>☆主題を演奏している楽器の移り変わりによって、どのような効果が現れ曲想が変化しているのかに触れながらまとめるよう助言する。</p> <p>☆主題を演奏する楽器の移り変わりを意識して聴くことができるように楽器カードを活用する。</p> <p>◆旋律の反復や変化を知覚・感受している。 【鑑-①】(学習カード)</p> <p>☆自分が特に印象に残った変奏を選び、学習カードのメモを基にして他の変奏と比べながら文章にするよう助言する。</p>	